

## 無力と誇り

## なうい洋一

オイラは戦争を知らない。

たぶん、この文章に読める方は、戦争は大昔の事だと認識をしているだろう。昭和も、すでに歴史の教科書の中の数頁になっている。これから日本人として、誇りを持って生きていけるだろうか。

オイラは、今年で「娯楽」と関係して30年の月日が流れた。誰になんと言われても「娯楽」に対するプライドは、人一倍あると認識している。例え、水商売と言われても、博打と言われて、まともな商売に転職すれば言われても、非常識だと言われても、首を縦に振った事はない。それは、ここに上げられないぐらい「娯楽」と言うのは、世間から離れていて、まだ、認めて頂けない不思議な商売と思われている。でもたまに、いつもは無関係と思われている「娯楽」に接近してくるのだ。都合の良いのが「娯楽」なのだろう。そこも悲しいと思う一部なのだが、なぜ、この「娯楽」を続けているかである。1つは自分自身を評価の物差しは、やはり悔しい想いをした時であろう。「いつか見返してやる」と思っている所だろう。2つ目は、人を救う事が出来ない自分にもっと力を付けたいと言う事。オイラがその日にもう少し「力」が足りていれば、救う事ができた事が目に浮かぶ。3つ目は、死ぬまでにひとつくらい続けている事があれば、幸せな気持ちで人生を過ごせた証が欲しい事。「自慢したいんだよね」。父と母に「僕、やりとげた！」って言いたいね。

でも、オイラを違った意味でとらえている方が、いるのも困った事だ。そりゃ、30年も娯楽に関わってれば、諸々の関係者や力も使える様になっているけど、もっと単純にオイラは娯楽と過ごしている。娯楽の世界に入ったのも「歌」をうたいたいだけの信念から

である。それいがいは、あまり興味もない。オイラ使って、地位や名誉、金作りしたい方が多数いる、考えた企画や作品を、勝手に利用しようとする者まで現れる。オイラが純粹に断ったりすると、「なんだとー」とか、脅してくる者までいる。世話しないね。勘弁してくれよ。君達も、朝の新宿アルタの前にいってみなよ。お出迎えはゴミを漁るカラスだよ。右も左も知らないガキのオイラが経験した時間だよ。そこから「娯楽」を通して、今を感じている。観ている。生てる。怖がってもいる。

本年2011年3月11日東日本大震災。現在のオイラに予習と宿題がたくさん見えてきた様な気がする。いや見えてきた様な気がするのではなく、現実をすべて受け止めて、「人」として、人生の先輩達への感謝の気持ち、今後の事を同年代と考え、そして、次の世代へと何を残し、贈る事が出来るのかが、今回の「宿題」なのだ。あまりにも力の無さを感じた。感じたより痛感した。とても悔しかった。涙が沢山出た。その気持ちを書き残しておきたい。

喉の渇き、腹を満たす、温めてあげる事すら出来ない、悔しさだけがある。歌を届けても、笑いを届けても、意味など無いのだ。無意味なのだ。ここで勘違いしてはいけないのだ。平成16年新潟県中越地震の際に、ある楽曲がヒットした。新潟の方々の心の支えをした楽曲がある。この件については、今回は触れないが、勘違いしている人がいるのだ、歌作って、ホームページで告知して、「YouTubeで聴いてね！」って告知してた。世話しない。この表現方法は頼むからやめて欲しい、今回の震災を利用しなくてもいいではないか。そんなに何かに乗りたいのか。何かプロジェクトを立ち上げて、支援の形にしている方は、流れが見えるが、自分の為だけに利用するは、やめて欲しい。勘弁してほしい。もしも、「娯楽」を通して、何かの役に立ちたいのであれば、綺麗な言葉で飾る事ではなく、分かち合いたいと嘘をつかずに、真正面でメッセージを送ってほしい。

我々の「娯楽」はまだまだ、大きくならなければ「人」を救う事ができないです。タダで聴かせないで貰いたい。なんの使命感なんだろう。祭りは自粛してる。あの大手新聞社の方が発言した（丁寧な言い方が必要だった）言葉使いが良くなかったが、プロ野球の試合が行われなければ、そこに関わる労働者に加え、家族を含めた何万人もの人たちの生活の基盤が緩んでしまう。だって、今、誰しも大変な時期なんです。向き合って行きましょう。

電気を使う行為は悪い事にされ、節電は良い人の形になってます。お決まりの悪者探しはやめましょう。

この辺りの文章は、最近遭遇した、「大根おじさんの話」や「お米おばさん相撲取りになるの話」は省かせてください。みなさんも感じていると思う話なので・・・

先日、相方の家族が増えました。3人目のお子さんです。水道水の問題です。相方の近所でミネラルウォーターが売ってないと聞き、持って行きました。このミネラルウォーターは、名古屋の田中紀松君が、オイラの家族を心配してくれて送って頂いたミネラルウォーターでした。相方の家に「ミネラルウォーターを持って行って良いか」と家族に話しをした所、オイラの子供たちは、「赤ちゃんを助けてあげてください」と笑顔で、オイラを相方の家へ送り出してくれました。ひとりの人を助ける事が、こんなにも大変で、こんなにも温かい気持ちになれた事が、生まれたばかりの「赤ちゃん」に教わるとは思っていませんでした。

ひとりを救うのに、何人もの力を合わせなければいけない。オイラは、もっともっと力が欲しい。そうすれば、二人、三人と救えるのに、なんで、オイラは・・・

医者じゃ無いんだろ・・・  
消防士では無いんだろ・・・  
パン職人なら  
ラーメン作れてもよかったのに  
もっと金あれば、モーフ買って、水買って、大きなトラックで運んで、金あればいっぱい義援金出来るんだけどな・・・。

・・・無力。

オイラは戦争を、資料や人の話から学んだ。  
その時に、我々の少し上の世代は、お世話になった。それは、今回は敢えて「田舎」と書くが、お世話になった。「疎開」である。その子や孫、ひ孫が我々の世代だよ。日本人として、我々をこの世に誕生させてくれたのは、その方々が面倒を見ていただいた。我々の先祖達である。日本人は、忘れてはいけない。お世話になった事を、今感謝しないで、いつするんだ。我々、日本人にたくましく、夢や希望を与えてくれた方に感謝しないとイケない。

この辺りの文章には、団塊の世代へ方への、メッセージを添えています。今回の文章で勘違いされそうなので省きます。・・・団塊の世代のみなさんは、ゆっくりしてください。安心しておじいさんになってください・・・みたいな箇所です。またの機会にさせてください。

今、日本人は・・・

「無力」だから「誇り」がないのか！？

「誇り」がないから「無力」なのか！？

最近みなさん、この言葉を使っていますか

「大好きです！」

「とっても楽しい！」

「ありがとう」言っていますか？

計画停電の昼間に、散歩しました。すれ違う方々が声を掛け合うのです。これって一番大切な日本人がそこにいました。

計画停電の夜、空を見上げたら星が綺麗でした。これが本来の心なのかもしれません。

最低限の必要な物意外は、被災地に送りましょう。  
それで良いのです。

なぜなら、

日本人は醤油を借りる文化があるんです。

声を掛け合う交流があるのです。

疲れた時に、空を見上げて反省もできるのです。

「無力」だから助け合う事ができる。世界に胸を張って言えます。  
すばらしい「誇り」です。それが「日本人」でしょうね。

もう、人を見くびるのは、やめませんか

もう、自分だけ得すれば良いみたいな考え捨てませんか

もう、誰も死なないでください。

オイラからのお願いです。

「ガンバレ！日本」ではなく、「日本！がんばれ」です。

がんばれる人が、がんばれば良いのです。  
被災地の方といっしょにがんばらなくて良いのです。  
今、この文章を読んでいる環境の人が、がんばれば良いのです。  
いつもの行動が、答えなのです。

赤ちゃんは泣く  
学生は勉強をする  
働く者はちゃんとやる  
年配の方は、知恵を授けてください

次世代に「日本人」と言う「誇り」を持たす事が、我々大人の最後の宿題です。

オイラは無力でよかった。

人を傷つけなくてすむ。  
誰かに手伝ってくださいと声をかける事ができる。  
最高の娯楽は「空」を見上げる事ですよ

ありがとう日本。

平成23年4月11日

たろい洋一